



高田沙織

## ◆三菱鉛筆 uni (ユニ) シリーズ比較

ワインレッドの軸が印象的な uni シリーズ。誰もが一度は使ったことのある商品だろう。しかし、実は3種類あることを知っている人は少ないのでは……。同メーカーの同種製品にどのような共通点、相違点があるのか比較してみたい。

## 【スペック比較】

	ユニスター	ユニ	ハイユニ
項目			
発売年	1975(昭和 50)年	1958(昭和 33)年	1966(昭和 41)年
価格	63 円	94 円	147 円
軸の形	六角形	六角形	六角形
上部	ワインレッド	ワインレッド	黒色 金色のリングより 上は丸軸 中心に黄色の点
長さ	22.8cm	22.8cm	23.0cm
硬度 (F/HB を含む)	4H~4B (10 硬度)	6B~9H (17 硬度)	10B~10H (22 硬度)

刻印	MASTER WRITING	Pressure-Proofed Hi-Density Lead	HB JAPAN
JAN コード	979198	977354	978917
硬度表示/色	二面/白	三面/金	六面/金
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニシリーズの廉価版</li> <li>・取り扱う店舗少なめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発売以来、50年以上愛されてきたロングセラー商品</li> <li>・製図からデッサンまで幅広い用途に対応する品質</li> <li>・発売当初の硬度は4B~4H</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金字で6面に硬度表示され、金のリングがついている高級感のあるデザイン</li> <li>・10H~10Bまでの世界一の硬度幅</li> </ul>

#### ◆スペック考察

まずは値段に驚かされる。ハイユニはユニスターの2倍以上の値段である。ユニスターからユニ、ハイユニになるにつれ、金色が使われるなどデザインに高級感が見られる。特にハイユニは金色のリング、六面すべてに金色でHBの表記があるため、売り場でも一際目立つ。

ユニスターの刻印がMASTER WRITINGとあることから、これから字を学ぶ子どもをターゲット層にしているのだろう。uni★starと星印が入っており、かわいらしい感じもする。ここには載せていないが、ユニスターシリーズとして、ピンク・青・緑色の軸のかきかた鉛筆、三角軸の鉛筆がある。どちらも硬度はB、2Bのみである。このことから書くことを始めたばかりの子どもをターゲットとしていることがわかる。

ユニスターとユニについては外見上の違いはパッと見るだけではわからない。またハイユニもデザイン以外にどんな違いがあるのだろうか。

#### ◆書き心地対決

3本とも軸上部のロゴを隠した状態で10人に書き比べ調査を行った。文字を書くときに使いたい順に並び変えてもらった。なお、硬度はすべてHBを使用し、紙はコピー用紙である。次頁の表がその結果である。

### ・各々の書き味ランキング

① ユニスター、②ユニ、③ハイユニ

	1位	2位	3位
A	①	②	③
B	①	②	②
C	②	①	①
D	②	②	③
E	①	②	③
F	②	①	①
G	①	②	③
H	②	④	⑤
I	①	②	③
J	②	③	③

1位を3 pt、2位を2 pt、3位を1 ptとして換算すると

①ユニスター 2 3 pt

②ユニ 2 2 pt

③ハイユニ 1 5 pt

### ◆書き心地についての考察

硬度自体はすべて HB を使用したのだが、ハイユニが特に芯が柔らかいように感じられた。そもそも鉛筆の硬度というのは黒鉛と粘土の割合によって決まる。黒鉛の量が多いほど濃く柔らかい芯に、粘土の量が多いほど薄く固い芯になる。HB の割合は黒鉛 70%、粘土 30%である。同じ配合でも柔らかさに違いが感じられたのは黒鉛・粘土の質、粒子の細かさ・均一さに違いがあるのだろう。書き比べ調査の際にも「同じ HB と思えない」という意見が多く挙がった。

10人中全員がハイユニを1位に選んでいないことから、字を書くときには固い芯が好まれるのだろう。実際に「絵を描くときには③(ハイユニ)を使いたいけど……」という人もいた。

ではユニスターとユニの違いはどこにあるのだろう。私は削った後の削り面にあると思う。ユニスターは少しざらざらした感触であるのに対し、ユニの削り面はなめらかである。ちなみにハイユニも削り面はなめらかである。今回の書き心地調査ではユニスター、ユニの間にあまり違いが見られなかったが、軸の木の質により、鉛筆の価値が変わってくるのだろう。

シャープペンシルやボールペンと比べれば、どれも同じように見えてしまう鉛筆であるが、同メーカー、同種製品であっても違いがこれだけ見つかった。他メーカーともなればさらに違いが見つかり面白いだろう。ぜひ売り場へ行って自分好みの鉛筆を見つけてほしい。いつの日か鉛筆の試し書きコーナーができれば、さらに選ぶのが楽しくなるだろう。

奈良女子大学文学部人文社会学科文化メディア学コース編  
(2012年度後期「文化社会学演習」報告書)

## 『文房具—ぶんぐ大学への招待—』

---

2013年8月12日発行

編集・発行 奈良女子大学文学部 人文社会学科  
文化メディア学コース (小川研究室)

---

〒630-8506 奈良市北魚屋西町 電話&FAX 0742-20-3259

E-mail [ogawax@dream.com](mailto:ogawax@dream.com)

---

印刷 株式会社 実業印刷